

# ユビキタス食の安全・安心システムの開発（継続）

- ユビキタス食の安全・安心システム開発事業費補助金 -

1,069(1,200)百万円

## 対策のポイント

ユビキタス・コンピューティング技術を活用したトレーサビリティ・システムの開発・実証を行います。

（食品のトレーサビリティとは）

トレーサビリティとは、食品が生産から販売にわたってどのようなルートを通ったか把握できることです。トレーサビリティを確立すれば、食品事故発生時の原因究明や食品回収などがより迅速に行えるようになり、消費者への情報提供を充実させることも可能となります。

（ユビキタス・コンピューティング技術の活用）

ユビキタス・コンピューティング技術とは、身近なところに小さなコンピュータなどが存在し、いつでも、どこでも、必要なときにそれが利用できたり、コンピュータが自動的に人間へ働きかけてくれる仕組みを実現する技術のことです。

この技術を活用することにより流通経路情報等の記録・管理・提供が容易、迅速に行えるようになります。

## 政策目標

生鮮食品及び加工度の低い加工品を対象として、トレーサビリティ・システムを導入した品目の割合を50%に高める（平成19年度）

< 内容 >

### 1. 事業内容

ユビキタス・コンピューティング技術を活用して情報の記録等の自動化・簡便化を進め、食品の安全管理の向上等への活用も可能な先進的トレーサビリティ・システム（「食の安全・安心システム」）を、公募方式により開発・実証します。

併せて、品目別の導入ガイドラインの作成、普及啓発のためのセミナー開催等に対する支援を実施します。

#### 19年度に開発するシステム

- ・他の生産～小売系統の流通経路情報等を利用できる相互乗入れ可能なシステム
- ・加工・流通段階の安全管理に活用できるHACCP等と連結したシステム

- 2 . 事業実施主体                      民間団体
- 3 . 補助率                                定額
- 4 . 事業実施期間                      平成 1 7 年度 ~ 1 9 年度

【担当課：消費・安全局消費・安全政策課 03 - 3591 - 4963 (直通)】